

日本航空 羽田工場を見学しました！

日本複合・防音床材工業会では、資材流通委員会主催で工業会の正・賛助会員を対象に各会員様の事業経営の参考となるべく各種見学会を企画・開催しております。



今回は、東京羽田空港に隣接し、航空機の整備、点検をはじめ、安全な運航を支える様々な業務を担う JAL 整備場・格納庫（メンテナンスセンター）及び「JAL SKY MUSEUM」を見学しました。

- 日時：10月26日（木）14：45 ～ 16：35
- 場所：日本航空 羽田工場 東京都大田区羽田空港3-5-1
- 見学者：16名
- 対象：工業会の正会員及び賛助会員
（見学は無料、現地集合・現地解散）

【概要】

整備場、格納庫では実際に整備士が整備している姿や、本物の飛行機を間近に見学しました。

3200名の整備士の内、羽田工場では1400名が勤務しているとの事。1割が女性整備士との事でした。

「JAL SKY MUSEUM」では整備士、運航乗務員など経験者の案内のもと、映像や画像で航空機の仕組みなどについて学ぶ航空教室、各職種の仕事紹介エリアや客室乗務員の歴代の制服、現物大のコックピット模型などを見学しました。



【展示ホール】

滑走路を思わせるスペースには運航乗務員、客室乗務員、整備士など各職場での仕事道具の実物展示、仕事内容を紹介するディスプレイが設置されていました。

「ミュージアム」スペースではJAL創世期から現在にいたるまでの史料や歴代航空機12機のモデルプレーンなどの展示がありました。

コックピット模型の操縦席に座ってみました。内部が想像以上に狭い事、小さな操縦桿、計器類の多さに驚きました。



【整備場、格納庫】

1993年竣工のJALメンテナンスセンターはM1(敷地面積17000㎡)、M2(敷地面積20500㎡)の2つの施設で構成され、M1では1週間から1か月程度を要する重整備、M2では軽整備と日常的なメンテナンスが行われています。自動車の車検にあたる整備は6000h(飛行時間)もしくは18か月毎で実施するとの事です。

整備士の現場作業を間近に見ることで、安全運航の重要性をあらためて感じる事ができました。



※日本複合・防音床材工業会では会員を対象に適宜、展示場や工場見学を実施しています。